

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちは。最澄・空海に至る飛鳥・奈良時代の仏教がテーマの今年のかわら版。今月は**壬申の乱**についてお伝えします。

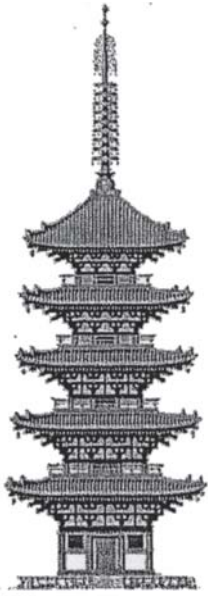
★大海人皇子と大友皇子

白村江の戦い(六六三年)の後、国防体制整備と内政改革を開始した**中大兄皇子**。

六六一年の斉明天皇崩御の後、皇位に就かずじきに事実上の統治を行っていた**中大兄皇子**でしたが、**六六七年、大津(近江)遷都**を行い、**六六八年**、ようやく**天智天皇**として即位。

六七〇年、初の戸籍として**庚午年籍(こうごねんじやく)**を作成。中央集権国家ができあがりつつありました。

天智天皇の弟は**大海人皇子**、息子は**大友皇子**。大海人皇子は長く**斉明天皇**、**天智天皇**を補佐し、人望がありました。



皇位継承を巡る微妙な空気が流れる中、**天智天皇**が病床に着きます。

六七一年、病床に**大海人皇子**を呼んだ**天智天皇**は「跡を任せたい」と告げます。

しかし、皇位継承の意思があることを示せば身の危険につながることを察知した**大海人皇子**は、病気を理由に固執し、出家して**吉野**に籠もりま

★壬申の乱

六七二年、**天智天皇**が崩御すると、**大友皇子**が**弘文天皇**として即位。しかし、朝廷内では**大海人皇子**への同情と期待が続いていました。

吉野の**大海人皇子**、**大津**の**弘文天皇**の間で高まる緊張感。そう

した中、**弘文天皇**が**天智天皇**の墳墓造営の人



壬申の乱「瀬田の戦い」

夫を武装させ、挙兵準備をしているとの情報を得た**大海人皇子**が逆に**挙兵**を決断。**壬申の乱**が勃発します。

★天武天皇

六七三年、**大海人皇子**は**天武天皇**として即位。**天智天皇**の遺志を



天武天皇(集古十種/天武帝御影)

継ぎ、官僚制の整備と軍事的力の強化、中央集権国家の形成に注力します。

国内的には**天皇**と**大王(おきみ)**と豪族・貴族の関係を定めるために**古事記**を、対外的には倭国の正統性を示すために**日本書記**の編纂を命じます。

六八一年、律令の編纂も命じ、**七〇二年**の**大宝律令**につながります。

大王と呼ばれていた統治者を**天皇(てんのう)**と呼びかえ、定着させたのも**天武天皇**

と言われています。昨年十月号でお伝えしたように、文献に**天皇**の呼称が初めて出てくるのは**六〇八年**の**隋の煬帝(ようだい)**に献じた国書。以来、七十年余を経

て、ようやく**天皇**号が定着します。

六八六年、**天武天皇**が崩御すると**鴨野皇后**が**持統天皇**として即位。

六九七年、**持統天皇**が崩御すると、**孫の軽皇子(かるのみこ)**が**文武天皇**として即位。**七〇一年(大宝元年)**、**文武天皇**が派遣した遣唐使、**粟田真人(あわたのみひと)**が唐に対して初めて**日本**という国号を用います。

日本は唐に冊封されることなく、独自の律令制度、位階制度を持つ独立国家としての立場を明確にしました。

★役行者(えんのぎょうしゃ)

こうして日本の国家体制が整っていく過程で、国家仏教となった日本の仏教も独自の变化を遂げます。

天武・持統・文武天皇の頃に、都の貴族や僧尼たちの耳目を集めていたのが**役行者**

(**えんのぎょうしゃ**)。来月は役行者についてお伝えします。乞ご期待。

